

## 令和5年度第5回（8月度）役員会議事録

会長 大塚 邦丸  
監事 吉川 翰佑

1. 開催日時 令和5年8月13日（日） 10時30分～12時00分
2. 開催場所 ちはら台自治会館2階大会議室
3. 出席役員 会長（大塚）、副会長（川上・小出）  
理事（上川原・山口・岩月(委任出席)）、会計理事（石井）  
監事（吉川）、顧問（市野）

### 4. 内容

#### （1）活動状況報告（7月3日以降本日（8/13）まで）

##### ① 防犯パトロール（川上副会長）

- ・実施日時 7月22日（土） 19時から約30分間実施
- ・参加者数 17名（Aブロック8名、Bブロック7名、Cブロック2名）

##### ② 公園清掃（小出副会長）

- ・実施日時 7月22日（土） 8時30分から約30分間実施
- ・担当班 B-5班 参加者数18名 世帯参加率65.2%
- ・ゴミ収集結果 可燃ゴミ48袋（昨年72袋）、不燃ゴミ1袋（昨年1袋）
- ・状況
  - ・菓子、パン等の袋類（大、小）のゴミが目立った。
  - ・遊歩道日陰に落葉が残っていた。

##### ③ 会計実績報告（石井会計理事）

詳細は資料1 「会計実績報告について（石井会計理事）」参照

- ・収入 149,561円（新規入会1名分会費1,000円（8,9月分）、資源回収の売払金5,581円他）
- ・支出 367,199円（資源回収促進のための商品券配布142,000円、ゆうゆう会への補助金50,000円+振込手数料440円、自治会連合会依頼による清水谷小学校30周年寄付金25,000円、役員活動費（7～9月分）120,000円他）

#### （2）8月・9月の行事確認及び役割分担確認

資料2 「8月・9月の行事確認及び役割分担確認」のとおりとすることが確認された。

- ・市民夏祭り 8月19日（土）16時から
- ・防犯パトロール 8月26日（土）19時から、9月23日（土）19時から
- ・公園清掃 8月26日（土）8時30分から、9月23日（土）8時30分から
- ・南5フェア 9月9日（土）15時から

#### （3）連合会からの連絡事項（大塚会長）

- ① 帝京大学ちば総合医療センターの移転計画について
  - 資料3 「帝京大学ちば総合医療センターの移転計画について」参照
  - ・姉崎にある総合医療センターを帝京大学ちはら台キャンパスに移転する計画がある。
  - ・建て替え時期は2029年11月頃とのこと
- ② 第1回まちづくり意見交換会の開催について
  - 資料4 「第1回まちづくり意見交換会開催について」参照
  - ・既に行ったアンケート結果を分析し議題を決定、参加申込書を配布する。
  - ・9月10日(日)10時～12時 ちはら台コミュニティセンターで開催する。
- ③ ちはら台文化祭について
  - 資料5 「令和5年度ちはら台文化祭について」参照
  - ・11月4日(土)9時～16時 開催予定
- ④ 市原市町会感謝状贈呈候補者の推薦について
  - 資料6 「令和5年度市原市町会感謝状贈呈候補者の推薦について」参照
  - ・令和2年度～4年度までの3年間南5丁目自治会長を務められた岩上鉦司氏を推薦する。
- ⑤ 市原市総合防災訓練について
  - 資料7 「令和5年度市原市総合防災訓練の詳細について」参照
  - ・11月5日(日)9時～12時 実施予定
  - ・各自宅から清水谷小学校(南5丁目の避難場所)までの避難経路確認と体育館の開錠訓練(南5丁目代表12名参加)
  - ・その後徒歩で桜小学校へ行き、初期消火訓練(水を使った模擬訓練)等を実施(3名参加)
  - ・消火器の訓練はなるべく未経験者が参加する方がよいと思うが、実際の火を使った消火訓練を行わないと、なかなか役に立たないのではないか。(小出副会長)

#### (4) 報告事項(大塚会長)

- ① 7月の資源回収実績について
  - 資料8 「7月の資源回収実績について」参照
  - ・7月の回収量は6月より約3割増で1,361kgとなった。
  - ・資源回収は現状15万円/年を30万円/年にすることを目標としたい。
- ② イチ推し(いちはら推し活制度)について
  - ・現在の寄付ポイントは46,000ポイント(登録説明会に計7名参加)
  - ・回覧での回答では寄付ポイントが60,000ポイントとなっており、クオカードを渡す際履歴を確認することとしたい。
  - ・引き続き制度の周知を図りたい。
- ③ 市民体育祭ちはら台地区大会の開催について
  - ・10月8日(日)10時～15時 開催予定
  - ・かずさの道を利用したウォークラリーを実施予定
  - ちはら台駅～桜小学校までの小中学校や公園がチェックポイント(10か所)となり、チェック数により商品がもらえる。

・南5自治会からは数名の協力員が必要

④ SNSアプリ「band」の利用促進について

資料9 「SNSアプリ「band」の利用促進について」参照

- ・南5丁目自治会内の連絡用アプリとして提案するもの。「band」を使うことで会員への情報連絡、行事などの連絡や参加確認、意見収集、不審者情報の発信等が即座にかつ効率よく行える。
- ・発災時の安否確認にも役に立つ。(班長の負担軽減にもなる)

(5) 検討事項(大塚会長)

① 防災ヘルメットの更新について

資料10 「防災ヘルメットの更新について」参照

a 大塚会長の提案

現在、防災倉庫にある6個の防災ヘルメットは耐用年数を大幅に超えており、更新の必要性があるため、購入することとしたい。(折り畳み式ヘルメットとする)

- ・数量 24個(役員+班長用)(ヘルメットインナーも同時に購入)
- ・金額 1個4,000円~5,000円として約120,000円  
(消火器等整備費200,000円から、先日使用した消火器購入費50,000円を引いた残り150,000円から支出する)
- ・実施時期 下期の自治会費を取受後購入し、配付する。
- ・その他 事前に班長に防災体制の説明や、ヘルメットの希望のカラーの確認を行う。  
なお、カラーは南5丁目の統一カラーとしたい

b 災害発生時の対応等について、次の疑問、意見が出された

- ・災害発生時の体制(防災体系等)が明確になっているのか?  
発災時、どの様なレベルの時に、どの様な体制で、どのように動くのかの取り決めはあるのか?  
連合会と自治会の役割分担等が明確になっているのか?  
東日本大震災時、自治会及び連合会においてどの様に判断され、どの様に動いたのか?  
また、災害後の反省がどうなされ、どの様な改善がされたのか?  
南5自治会として過去の検討結果が残されているのか?(以上小出副会長)
- ・連合会からは、自治会員を安全に避難させたいという人数も含めて確認し、それを報告することが求められている。自治会の防災体制については無いと思う。(大塚会長)
- ・東日本大震災時には、避難所が開設されたが、自治会住民に対する活動は特段実施していない。(市野顧問)
- ・いずれにしても、過去の記録等を調査し、当自治会としての防災体制等を整備していく必要があると思う。同時にその体制が有機的に働くよう訓練等の整備も同時に必要ではないか。(小出副会長)
- ・新会員の入会に当たって、災害発生時の対応について説明できれば、入会のメリットを感じてもらえることにもなるのでは。(小出副会長、石井会計理事)
- ・防災体系をいちから作る必要がある。  
何より大事なことは、まず自分が避難し、無事であることを知らせることだと思う。

SNSアプリ「band」による連絡体制の整備や、ヘルメット購入等の活動も併せて、防災計画策定を検討する。(大塚会長)

- ・各体制構築と非常時の行動指針については、他の町内会や被災地のホームページ等を参考にするのも良いのでは。(小出副会長)

## ② 資源回収袋の配付について

資料 11 「資源回収袋の配布について」参照

### a 大塚会長の提案

- ・現在第1・第3日曜日に協力いただいている南5丁目の資源回収に当たって、回収袋を各家庭で負担してもらっているが、この負担を軽減できないか検討した。
- ・現在の方法だと、ポリ袋を1枚3円とすると、全家庭の合計が6,816円/月となる。これを市原市指定のような資源回収専用袋設置方式にすると、17か所の回収場所ごとに4種類(ペットボトル、アルミ缶、スチール缶、びん)の袋がローテーションのために2セット必要。金額としては1枚400円として、55,000円程度。ただ、この場合、ゴミステーションには水曜日の市原市の資源回収で利用する袋もあり、運用方法等に課題がある。

別案としては、ゴミステーションごとの代表者に大型のポリ袋を渡し、そこに各家庭の資源物も一緒に入れていく方法。よくペットボトル等を出す家庭に大型のポリ袋を渡して、みんながそこに入れるようにすれば、大型ポリ袋1枚10円として、1,360円/月となり、各家庭で袋を負担する場合の6,816円/月よりも約5,500円/月の節約となる。

ただし、現在のところペットボトル等の回収収入が865円と、袋購入代金を下回っているため、今後の進め方として、回収量の増加傾向等を見ながら、ポリ袋の配布を検討していく。

## ③ 南5フェアについて (大塚会長))

○実施日 9月9日(土) 15時～

○場 所 コミュニティセンター支所会議室および体育館

(今回はバーベキューを行わないことから、必ずしも公園に集まる必要はなく、天候に左右されにくい点からコミュニティセンターで行うこととした)

○内 容 簡単なミニゲーム(ビンゴ等)をした後、希望者は体育館でボッチャ等を行う。

○注意点

- ・弁当をコミュニティセンターで食べることはできないとのこと。
- ・そのため、弁当を希望した人は、持ち帰ってもらうことになる。
- ・弁当自体は600円程度で考えており、1～3人参加の世帯の場合、不足分は商品券で補うこととしたい。

○その他

- ・参加者数は現在集計中であるが、8割以上が不参加で商品券を希望していると思われる。
- ・上記内容の一部を次の通り変更する。(大塚会長)

弁当の配付及びその他の世帯への2,000円分の商品券の配付を止め、全世帯について下期の自治会費を2,000円引きとする。

[理由]

アンケートの結果、弁当を希望する方も少なく、また世帯間の参加人数もまちまちであり、少人数参加世帯の不足分を商品券で補うことは、準備等も含めて困難となる。一方で、その他の世帯へ2,000円分の商品券を配付することも相応の手間があり、下期の自治会費を改めて集金することを考えると、弁当の配付はせずに、一律、下期の自治会費を2,000円引きとすることが、より現実的であるとの判断から、この方針を進めることとしたい。

- ・詳細については、再度回覧にて周知する予定。
- ・終了後、今後活かすためにアンケートをとることが必要と考えている。

#### ④ 防犯灯の向きについて

資料12 「みらい通りの位置図」参照

○「みらい通り」の一部の方から次の要望を受けた。(市野顧問)

- ・歩道側を照らしている防犯灯が一部あるが、庭木の生育に影響があるため、向きを車道側にしてもらえないか。

・[背景]

市で設置した防犯灯は道路側に向けて設置されている。

一方、自治会で設置した防犯灯については、車自身にライトが付いているので道路を照らす必要は無く、防犯の観点から歩道を照らすべきとの考えから歩道側を照らすように設置している。しかし、歩道側を照らすと樹木の成長が早くなるとのクレームが出てきた。

○この要望について次のように進める。(大塚会長)

- ・「みらい通り」に限らず、区域内全体で防犯灯の向き変更の希望を調査し、施工必要箇所と予算を確認のうえ判断する。

#### ⑤ 「ゾーン30」への追加要望について

資料12 「みらい通りの位置図」参照

○清水谷公園・ちはら台南中学校の前の道（「みらい通り」）を「ゾーン30」に追加し、30km/hの速度規制ができないか、との要望を一部の方から受けた。(市野顧問)

- ・「ゾーン30プラス」（ハンプやシケイン等物理的デバイスの設置といったハードな対策も併せて実施）ではなく、「ゾーン30」の指定のみでよいのか（石井会計理事）  
→「ゾーン30」のみでよいと考えている。(市野顧問)

○この要望について次のように進める。(大塚会長)

- ・速度制限について意見を聴取し、30km/h制限の希望が過半数を超える場合は、同じく「みらい通り」を生活通りとしている水の江自治会と協議の上、連合会や警察、市役所へ話をもっていくこととしたい。

(6) 添付資料

1. 会計実績報告について
2. 8月・9月の行事確認及び役割分担確認
3. (報告) 帝京大学ちば総合医療センターの移転計画について
4. (報告) 第1回まちづくり意見交換会開催について
5. (報告) 令和5年度ちはら台文化祭について
6. (報告) 令和5年度市原市町会感謝状贈呈候補者の推薦について
7. (議題) 令和5年度市原市総合防災訓練の詳細について
8. (報告事項) 7月の資源回収実績について
9. (報告事項) SNSアプリ「band」の利用促進について
10. (検討事項) 防災ヘルメットの更新について
11. (検討事項) 資源回収袋の配付について
12. (検討事項) 「みらい通り」の位置図

以 上